

二三〇五番

旅たびにすら 紐解ひもとくものを 言こと繁しげみ 丸寝まるねそ我あがす
る 長ながきこの夜よを

二三〇六番

しぐれ降ふる 暁月夜あかとつきうくよ 紐解ひもとかず 恋こふらむ君きみと
居をらましものを

二三〇七番

もみち葉はに 置おく白露しらつゆの 色葉いろはにも 出いでじと思おも
へば 言ことの繁しげくに

二三〇八番

雨降あめふれば 激たきつ山川やまがは 岩いはに触ふれ 君きみが碎くだけむ
心こころは持もたじ